

東京地方裁判所檢事正殿

日本電信電話製造株式會社  
勞働爭議ニ関スル件 (第五報)

標記會社勞働爭議其後、狀況左記ノ通りニ有之。

記

一 爭議職工ノ動靜

職工側ハ會社ヨリ再夜ノ出勤勧告ヲ待テ居タル  
又會社側、態度強硬ナル為メ交渉委員トシテ  
為原博之助、井村福太郎外二名ヲ選定シ會社ヲ  
訪問セシメタルが會社ハ字句ノ修正ニハ應ズル又退  
職手當内規ノ數字ノ修正ハ不可能ナリト峻拒セルヲ  
以テ委員等ハ席ヲ蹴ツテ退出今後、交渉ハ一切

二 應援組合幹部ニ任シタリ

二 應援者ノ狀況

關東鐵工組合幹部内田茂、土井直作、柳野  
犀二原寅一、四名ハ去ル十三日、十四日、兩日會社ヲ  
訪問加納、小島兩重役杉本工場長ト會見折  
衝セル又加納專務、退職手當内規ノ發表ハ  
會社一ケ年ノ純益四万円中利益配當積立金  
準備金事務負ノ退職手當等ヲ除キタル二千前  
ヲ基礎トシテ算定セルモノニシテ發表額以上ニハ  
使給シ得ル旨縷々説明シテ諒解ヲ求メタルが  
財政窮乏ノ一莫張ニテ要求ヲ拒絶スル以上ハ交  
渉ノ要ナシト内田等ハ退席交渉亦々不調ニ  
終リタルヲ以テ職工側ハ稍焦燥ノ氣分漲リ十